



挨拶

大川匡子理事長



今年もまた美しい花の季節を迎えました。卒業、入学、就職、退職など人生の大きな転機を迎えている方々も多いことでしょう。

さて昨年8月に「滋賀いのちの電話」が開設され、相談員の第1期生が張り切って業務にあたっています。現時点では相談日は毎日曜日のみとなっていますが、24時間平日も相談を受けられるようになることを目標にしています。

この4月には第1期相談員の方々の認定式を挙行いたしました。相談員の皆様は1年間にわたる研修を無事に終了し、認定規定に合格された方々です。心からお喜び申し上げます。同時に今後は相談員としてのお仕事をどうぞよろしくお願いいたします。

滋賀いのちの電話は、昨秋より第2期相談員養成講座をスタートしております。本年は厳しい社会情勢が続くことが予想されますが、

このような時代にこそ滋賀いのちの電話が1人でも多くのいのちを救うことにお役に立てればと考えております。

うつ病や自殺対策は本人だけではなく、家族、職場、地域、保健行政、医療など多くの領域が関連すべき問題です。いのちの電話相談はその小さな一部です。電話との出会いが人生を変えることもあるのです。「みんな笑顔になってください」、さらに「いつでも、どこからでも、だれでも」の滋賀いのちの電話を目指して、私も相談員の皆様と共に今後がんばります。

また、これまで滋賀いのちの電話設立と運営にご協力いただきました多くの皆様に深く感謝いたしますと共に、今後のご支援についてもよろしくお願いいたします。



第1期認定式開催

桜咲く4月11日、びわ湖畔にある「ピアザ淡海」に於いて、滋賀いのちの電話第1期相談員認定式及び感謝状贈呈式、続いて懇親会を執り行いました。日本いのちの電話連盟樋口理事長、岡本事務局長、京都いのちの電話平田事務局長他、たくさんの方々のご出席を頂き、新相談員は勿論、事務局一同深い感謝と感動の中、終えることが出来ました。有難うございました。

皆様から頂いたご祝辞を要約ですがご紹介させていただきます。

滋賀県知事代理滋賀県障害者自立支援課 橋本澄男課長

桜の花が満開で、びわ湖の周りもうす桃色の
中、認定を受けられた方々に心よりお祝い申し
上げます。ご職業を持っておられる方もいらっ
しゃると聞いていますが、その熱意に感謝申し
あげます。

滋賀での自殺者は前年度347人、大変重い
ものがあります。最近の社会状況も考えますと
今後がますます心配です。県も自殺対策連絡協
議会を設けまして、関係団体と連携を図りなが
ら一層の取り組みに努めていきたいと考えて
います。滋賀での自殺者が一人でも少なくなっ
ていくよう期待します。

日本いのちの電話連盟 樋口和彦理事長



桜の花が満開の中、1期生が
認定されること嬉しく思いま
す。ボランティア活動の形をど
うするか、一般市民がするのは
並大抵ではなかったと思いま

す。生みの苦しみに応えて桜も満開になったの
でしょう。

農村地帯といいますが、地域によっては大家
族であったり、友人、知人が支えあって麗しい
状態の社会を作り上げていました。しかし戦後
の大都市の出現は、見えない暗い部分で孤独な
人間を生み出しています。大晦日、元旦等一家
が集まる祝い事の時、失意の中にいる人には厳
しい時間です。誰かが純真な気持ちで聴くとい
う事が大切です。死んでゆく理由はいろいろあ
りますが、3万人の家族が支柱を無くしている
のです。

この運動は世界と繋がっています。日本の5
0センターもお互いが助け合いながらやって
います。毎月10日はフリーダイヤルがありま

他の方々からは

* びわ湖に灯が点いた感じがします。たくさん
の人々の命の水源であるびわ湖の心で相談
者の声を聴いて下さい。

* おめでとうございます。今までの研修もご苦
労様でした。単に机の上の研修だけでなく、

す。無料です。こころ、魂の危機の時は無料で
かけられるのは当たり前だと思っています。い
ずれ365日無料でかけられるようにしたい
と思っています。

今回認定された12人の方々は覚悟のある
方だと思えます。長く安定して確実に、自分自
身を問いながら自分ができることをやってい
って欲しいと思っています。お金は差し上げら
れないけれども、お金以上の何かがあると思
います。滋賀にいのちの電話が無いことで肩身の
狭い思いをしていましたが、胸をはって報告で
きます。

日本いのちの電話連盟岡本正子事務局長

本日はおめでとうございます。どこのセンタ



ーでも1期生がとってもし
い力を発揮してくださって
います。今後の活躍を、健康
に気をつけて、ご家族のご理

解を頂きながら、仲間として頑張ってください。
経済的に支えてくださった方にも心からお礼
申し上げます。這えばたて、立てば歩めの親心
で、最終目標の24時間のご一緒をお待ちして
います。

京都いのちの電話 平田真貴子事務局長

おめでとうございます。1期生の方、来年に
なっても数が減らないように頑張りましょ



ね。ということは、お互いの
支えあいが必要なんです。今、
日曜の8時間だけですが少
しでも延長しましょう。深夜

が一番必要なんです。人の悩みが深まる時なの
です。自殺予防いのちの電話も受けられるよう、
その為の研修も受けて出られるようになり
ましょう。京都も応援します。滋賀が出来てと
ても嬉しいです。



実際の相談業務に預かりながら、匿名の中で
どんな言葉を語れるのか、ご苦労されておら
れると思います。以前牧師である私に、4人
のお子さんを持つ、肝硬変がすすんでしまっ
たあるご婦人が、ご自分の全存在をかけて、
「死にたくない！」と絶叫されてすがり付い

感謝報告



2009年3月末までのご寄付・ご協力

個人および企業・団体からご寄付・ご協力をいただきました。皆様の深いご理解と暖かいご支援に支えられ、立ち上げ資金として本当に役立たせていただきました。心よりお申し上げます。

個人 131名

企業、団体 (社)日本精神科看護技術協会滋賀県支部、草津ワイズメンズクラブ、大昌土地(株)、彦根みずほライオンズクラブ、(有)レイム、オウミ住宅(株)、(株)滋賀原木、ユニジョンくさつ内装、橋本建設(株)、ソフトハウジング、ヘルス研究所、谷行政書士事務所、ラ・ポールクリニック、守山こころのクリニック、

合計6,720,500円

今後とも変わらぬ御理解、ご支援をお願い申し上げます。



電話相談員募集

年間自殺者3万人余、多くの尊い命が失われる今日、いのちの電話は365日鳴り続けています。人生の危機に直面し、生きる希望や気力を失いつつある人に電話を通じて心を通わせ、再び生き抜いていく勇気を持っていただくために、私たちは受話器を握っています。

少しでも多くの人に勇気を持っていただくために、あなたも「いのちの電話」に加わって、受話器を握るボランティアのひとりになりませんか。

第3期の養成講座が9月に開講します。詳しくは事務局へお問い合わせください。詳細な資料と申込書を送付します。

ご支援のお願い

NPO法人滋賀いのちの電話の活動は、電話相談員の無償ボランティアのみならず、運営資金を寄付して下さる多くの市民の方々や企業・団体の皆様の善意によって支えられています。動きの激しい現代社会の中で、困難な問題を抱えて誰にも話すことが出来ず、孤独や絶望、不安・心の悩みに苦しむ人々の訴えが多く寄せられています。この状況に答えるために、相談員の養成および質の向上、施設等の整備拡充などの資金も必要となってきています。永続的な財政面でのご協力のお願いをするとともに、今後の活動維持の為なお一層の皆様のご理解とご支援を頂けますよう、心よりお願い申し上げます。

振込先

滋賀銀行 瀬田駅前支店 普通預金 番号：251748

郵便振替 00940-8-300160

振込先 特定非営利活動法人 滋賀いのちの電話

統計：滋賀県の自殺者数 2006年326人、2007年331人、2008年347人
2009年1月24人、2月22人、3月36人

【警察庁ホームページから転載 (<http://www.npa.go.jp/>)】

編集後記

やっと、滋賀いのちの電話通信第1号発行の運びとなりました。皆様にお伝えしたいことがいっぱいある様で、それでいて、何をどのようにお伝えしたらいいのか、手探りでの発行となっています。これからも皆様のご意見等をお聞かせいただいて、より良い紙面作りをこころがけ、続けて参りたいと思っています。よろしくお願いたします

発行

特定非営利活動法人

滋賀いのちの電話 事務局

電話・FAX：077-552-1281

<http://www.shiga-inotino-denwa.org/>